

# 交通安全を

を掲げて整列。

ゲートボールを通じ、お年寄りの交通安全意識を高めよう。九月二十八日、県警察学校グラウンドで「南国署管内ゲートボール大会」が行われました。南国市交通安全市民会議（会長 小笠原市長）の主催で、南国署管内から二十八チーム、百七十五人のお年寄りが参加。終日、熱戦を展開しました。

まず、小笠原市長、川田健男南国署長らがあいさつ。続いて参加選手を代表して、稲生Aチームの井上計夫さんが選手宣誓。細川留審判長からルールの説明などがあり試合開始。

一方、グラウンドの西側では、各チームが持ち寄ったプラカードの中から五枚の優秀作を選び、試



▲交通安全のプラカードを掲げ、選手宣誓



▲各チーム自作の趣向を凝らしたプラカード

合後表彰するなど、ゲートボールを通じて交通安全をPR。仲間とも交流を深め楽しくプレイしました。

また、二十八枚のプラカードは、市内の要所に設置し、交通安全に

一役買うとのことです。

試合の結果とプラカードの優秀賞は次のとおりです。

- 一位・横堀チーム（介良）
- 二位・日章コンドルチーム
- 三位・中島チーム

散開賞・小笠原チーム  
プラカード優秀賞

後免若葉Aチーム・岡豊Aチーム・三島ゲートボールチーム・稲生ゲートボールチーム・篠原さくらチーム

## “法規を守って”と ミニほうきを配る



### 市連合青年団



▲竹とシユロで作った「ミニほうき」  
法規を守ってと、呼びかける青年団員

秋の交通安全運動最終日の九月三十日、南国バイパス沿いで市連合青年団（小松進一団長）が、手作りの「ミニほうき」を配って、ユニークに交通安全を呼びかけました。

用意したミニほうきは、竹にシユロを巻き付けたもの。この日は団員四十人が参加し、まずバイパス沿いに「死止（シート）ベルト着用」の看板を設置。南国警察署などの協力を得て、ドライバーに「シートベルトをつけ、

法規を守って安全運転を」と、マスコットのミニほうきを配り呼びかけました。



## 健康づくりに

### 体操を◇◇◇

#### 大篠地区でも始まる

健康意識を高め、体力づくりをはかるうと、現在、市体を伸ばしたり、曲げたり、奮闘する皆さん

内各地区で行われている健康体操。十月二日には、大篠地区でも新しく始まりました。

昨年二月、老人保健法が施行され、その一つの事業として、四十歳以上を対象とした疾病予防・健

康づくり事業が挙げられています。市でも、食生活改善推進教室など、積極的に事業に取り組んでおり、健康体操もこの事業の一環。

康づくりに役立つ東洋体操。大篠地区では、十月から毎週火曜日に地区公民館で開かれ、初日の二日には約二十五人が参加。講師の先生の指導に従い、硬くなった体を伸ばしたり曲げたり、皆さん奮闘していました。

また、三和と久礼田地区で始まり、今年には新たに大篠、国府、十市地区も加わりました。内容は、中年以上の人にも手軽にでき、健

## 交流深め楽し〜 （老人体育大会）

スポーツを通じて、健康の保持と生きがいを高めようと、恒例の「老人体育大会」が十月六日、市内各地区から約千人のお年寄りが参加して、市民体育館で行われました。

まず、利岡富次大会長らがあいさつ。続いて、前年度優勝チームの稲生・十市チームが優勝旗を返

還。北部連合旗岩チームの坂本清男さんが、力強く選手宣誓。準備体操の後、八チームに分かれて、競技に、応援にと、おもしろい汗を流しました。

- 優勝 岡豊チーム
- 二位 稲生・十市チーム
- 三位 三和チーム

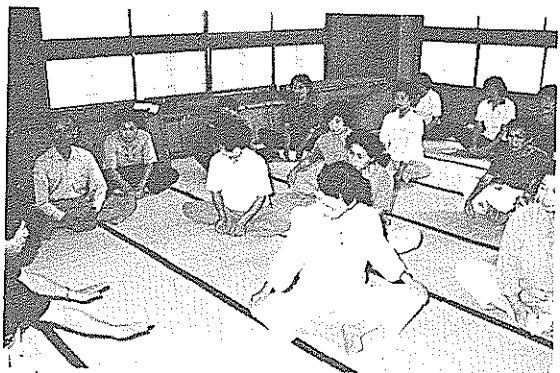


チームメイトの声援を受け、スティックを持つ手に力が入る

## ～赤い羽根共同募金～

### 初日には〇〇〇

#### 市長らが呼びかけ



「やさしさを隣人に」「赤い羽根共同募金」が、今年も十月一日から始まりました。初日には、市内四カ所のスーパーマーケットの店頭で、小笠原市長、岡崎俊一議長、社会福祉関係者ら五十一人が午後四時から六時まで、買物客に募金を呼びかけました。この日の街頭募金での善意は約八万円。



岡崎議長らが募金を呼びかけた